

和歌山県有田郡湯浅町

湯浅の若者と共につくる本気の商品開発！



【活動の基本情報】

参加学生数：5名

(1年生：3名、2年生：2名)

活動期間：2023年5月～

担当教員：山岸大二郎、岸上光克

1. 活動実施の経緯

湯浅町は人口1万人の小さな町だが、醤油産業発祥や金山寺味噌などの発酵文化、有田みかんなどの柑橘類をはじめとした農作物や、全国でも有名な紀州鴨の養鶏場があり、第一次産業の魅力に溢れている。一方、人口減少が進み、地域の若い担い手不足が課題となっている。地区内の住民だけでは新たな取り組みがなかなか生まれていないのが現状で、地域外の人や若者との接点を増やすことで新たな視点と繋がりが増え、衰退していく地区の新たな取り組みの一步になると考え、湯浅町の田村地区の若者によって任意団体「田村協議会」がつけられた。今年度よりスタートした本プログラムでは、学生が田村協議会のメンバーと協働で商品開発に向けて活動を行った。

2. 活動の内容

地域おこし協力隊や地域内の若者と連携し湯浅町の新たな商品開発に向けて活動した。今年度は、リサーチ及びマーケティングを地域の起業家から習いながら実践し、ふるさと納税で人気の商品の把握に当たった。調査結果から、肉類が各地域で売れていることを把握し、和歌山の特産牛「和華牛」に湯浅町の金山寺味噌を使ったハンバーグの開発を行うこととなった。その後、ハンバーグのパッケージのデザイン案の検討、OEM先への依頼など地域の方と協働して行った。来年度は、新商品のリリースを目指し活動していく。

3. 活動を通じて

実際にマーケティングなどの経験のある地域の若者から、マーケティングや商品開発におけるプロセスを学ぶことができた。また、大学での週一回のミーティングを通して、学生間のチームワークを強め、プロジェクトを協働して進めることができた。さらに、地域に足を何度も運ぶことで、地域との連携を深めることができ活動の支援を活動の関係者外からも得ることができた。

4. 成果ポスター

YUASA-CHO LPP

2023年度 LPP合同報告会

2024年2月1日

湯浅の若者と共につくる本気の商品開発！

活動内容

5月の合宿では、商品を決めるために47都道府県ごとに人気のふるさと納税返礼品をリスト化した結果、ハンバーグを作ることが決定した。7月の合宿では、ハンバーグの試作をした。シラスや金山寺味噌、レモンの皮を混ぜ込んだハンバーグを作り、一番おいしかった金山寺味噌のハンバーグに決定した。そして、販売に向け具体的に販売方法やOEM先、パッケージデザインの方向性を検討した。夏休み明けの合宿では、OEM先への依頼文書作成、特産品補助金申請、パッケージデザイン検討、販売促進のためのアンケート項目作成など販売の準備をし、来年度のLPPでやりたいことを話し合った。

それらに加え、連1回のミーティングを開きふるさと納税に関する論文を読んだり、販売に向け各個人ができることをしたりなど、LPPの活動内容をより良いものにすることを目指した。また、主な活動の商品開発以外にもLPPの活動拠点であるFLATのDIYを行ったり、個人でイベントを開催するなどし、地域の方々との連携を強化することに努めた。

今後の展望

来年度の販売に向けて、パッケージデザインや販売方法などを検討していく。そして販売の促進を目指す。その後はフィードバックを行い、ふるさと納税利用者の需要をくみ取りつつ地域の経済や産業の活性化につながる商品の開発をしていきたい。新たな商品の発案も視野に入れて活動したい。また、今年度の活動では湯浅町の住民の方との関わりが少なかったため、今後は地域交流をより深めたいと考えている。湯浅町でのイベントに参加するだけでなく、メンバー全体で運営のお手伝いや企画などの参加も目指したい。

ふるさと納税ジャンル別ランキング

- 肉
- 肉加工品
- 漬物
- 乳製品
- 野菜類
- 菓子
- 加工品
- その他

(2023年6月3日調べ)

湯浅町

湯浅町の概要

和歌山県中部に位置する自然豊かな町。
みかんの生産はもちろんのこと、釜揚げしらすの生産地としても知られている。
また醤油発祥の地として知られ、醤油の醸造蔵や伝建地区を中心に観光地としても人気がある。

湯浅町LPPについて

1回生3人、2回生2人の計5人の少数メンバーで構成される、今年から作られたLPP。湯浅町の農家さん（善兵衛農園の井上様）の声掛けにより始まった。地域おこし協力隊の方とともに合宿やミーティングなどを通して企画を進めている。LPPとしてだけでなく個人の活動として湯浅に行くことも多く、湯浅愛が強い。

FLAT_TAMURA

LPPメンバー：今岡英穂 伊藤希 郷田聖奈 養田彩夏 山本后春